

# CONTENTS

序文	3
総論	8
歯周組織の正常像	10

## Chapter 1 生物学的幅径 11

はじめに	12
1 生体の防御機構と構成する組織	12
2 生物学的幅径の基本概念	15
3 歯周組織の血管構造	22
4 歯肉の観察	29
おわりに— Biologic Width(生物学的幅径)の本当の意味とは	31



## Chapter 2 生体の組織構造と外科術式の関連 37

### 基礎編：生体の組織構造

はじめに	38
1 歯周組織を理解するためのキーワード：骨膜	38
2 歯周組織を理解するためのキーワード：歯肉	42

### 臨床編：外科術式

はじめに	52
1 全層弁剥離法と部分層弁剥離法	53
2 間違いのないフラップの移動と剥離法・縫合法の関係	56
3 目的別歯周外科の選択基準	76
おわりに—解剖学的知識に基づいた外科手技の重要性	86

## Chapter 3 歯周治療と補綴治療の接点 クラウンマージンの設定 89

はじめに	90
1 クリーピングによる生物学的封鎖を目指した支台歯形成法	90
2 天然歯補綴におけるクラウンマージンの設定位置	93
3 臨床的に上皮のクリーピングは本当に起こるか？	95
4 S-shape profileとは？	96
5 歯科技工士の立場から	102
おわりに—歯周病専門医が考える補綴治療：生体と人工物の調和を目指して	104

## Chapter 4 インプラントと歯周治療の接点 プラットフォームスイッチング 107

はじめに	108
1 歯周組織とインプラント周囲組織の相違点	108
2 歯周炎とインプラント周囲炎	113
3 プラットフォームスイッチングがインプラントを周囲炎から守る！	118
4 プラットフォームスイッチングの科学的根拠	124
5 歯科技工士が考えるインプラント上部構造の形態	142
おわりに一歯周病専門医が考えるインプラント治療： 生物学的に安定したインプラント周囲組織を目指して	144

## Chapter 5 患者の人生主導型 インプラント治療 147

はじめに一歯周病専門医が考えるインプラント周囲疾患予防	148
1 初診時	150
2 歯周基本治療・再評価～動的治療	152
3 再介入	156
4 現在および各種評価	161
5 考察	163
6 新分類をベースに考える治療法の選択(私案)	166
おわりに一インプラント治療は患者の人生主導型へ	168

# Chapter 6 ケースプレゼンテーションの 手引き

171

はじめに—科学的思考サイクル	172
1 緒言：発表したい症例を決定する	172
2 結論：この発表で一番言いたいことを決める	174
3 材料と方法：治療前の医療情報を整理する	174
4 結果：治療結果を時系列で整理する	175
5 考察：結果をもとに考察を加える	176
6 要旨：1～5を短くまとめた文章を作成する	176
7 タイトル：要旨を短文に縮めてタイトルとする	176
8 キーワード：タイトルを単語に分解する	177
あとがき	183
謝辞	184
索引	185
Dr. 牧草の推薦図書	187
著者プロフィール	188